

井川町教育委員会 8 月定例会会議録

1. 日 時 令和 5 年 8 月 2 9 日(火)午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 0 時 4 0 分

2. 場 所 井川町義務教育学校

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
主任	畠山汐美

5. 案件

(1) 報告事項

- ①全国学力状況調査結果（概要）について
- ②公設塾視察報告について
- ③男鹿潟上南秋地区小学校教科用図書採択結果について
- ④部活動地域移行の進捗状況について
- ⑤吹奏楽県大会、柔道東北大会の結果について
- ⑥教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

6. その他

7. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に齋藤委員、佐藤委員を提案。
(全員提案を了承)
教育長に進行を求める。

教育長 今日の内容は報告事項のみとなる。1つ目は全国学力状況調査結果（概要）について。6年生は今まで県平均を下回ることはあったが全国平均も下回り大きく溝を開けられた結果となった。9年生は数学が県と全国の平均を下回る結果となった。英語は県平均が全国平均を下回っていたのだが、県と全国の平均を共に上回る結果となった。学習調査も出ているが6年生は比較的前向きな回答が多かった。9年生も比較的勉強については一生懸命取り組んでいる。ただ、下回った中にどちらの学年も「タブレットを週3回以上使用する」がある。去年の県の調査でも同じだったが、タブレットを1番最初に導入したのになかなか使っていないという状況が続いているということが明らかになった。点数と経年比較、分布図もあるが、学習がしづらい状況になっていると感じる。質問を求める。

委員 分布図を見て英語はどうか。

教育長 今回の英語の問題については難しすぎると全国的に言われている。特に聞くは回答率が5%と非常に難しい。そういった点で差が開いたと思われる。

教育長 続いて2つ目の公設塾視察報告については報告書を完成させている。このことを元にして次回の教育委員会から塾の開設非開設を含めて協議をしていきたいと考えているがよろしいか。質問を求め、無い旨を確認し、承認する。

教育長 続いて3つ目の男鹿潟上南秋地区小学校教科用図書採択結果については地区協議会でこのような結果になっている。一つだけ生活が東京書籍から光村図書出版に変わっているが、これについては委員から詳細な説明があった。光村が教科書の編集が大きく変わって非常に子ども達にとって分かりやすく変わったので、今までの東京書籍よりも上回ったと判断して薦めがあった。他の教科については今までの判断で妥当であった。9月1日に採択について情報公開をする。

質問を求め、無い旨を確認し、承認する。

教育長 続いて4つ目の部活動地域移行の進捗状況については議会でもどうなっているか質問が出ている。井川町では協議会を作って情報交換をしているが、町だけでは解決できないことがたくさんあるので、八郎潟、五城目、大潟村の教育長が4町村で何回も話し合っている。主に、人数が少なくなりこの先、地域移行もあるが、合同チームをどうしようかということで協議を重ねている。今のスポ少の子ども達そのまま中学校でも入る前提で将来どう

なるかをまとめた表がある。野球、バスケット、バレーが団体競技として人数が必要だが困る学校がはっきりした。井川についてはバスケット男女。このような状況だが、合同チームを組むのは近くの町村と言うわけでは無く、中体連に組む権限がある。遠方と合同チームになると大変困ることがたくさんあるので、そこをどのように中体連に申し入れようか考えている。

質問を求める。

委員 中体連のルールが変わることはないのか。

教育長 そうだろう。

委員 人数が満たない学校同士でなければ合同チームが組めないのが前提で、いつまでもそのチームはその年限りと考えていなければならぬのはどうか。

教育長 今回の女子バスケットの問題は、4月に新入生が入ってきてそれまでの合同チームだったが解散になり新たに組んだ。しかし大会の6月までひと月しかないというのは本当に教育的な配慮と言えるのかという問題など様々ある。

委員 地域のチームのような4町村でやるという体制で全体で動けたらすごく良いと思う。ただ、それでチームが納得するかどうかということもあるだろうし、やはり単独で組みたいとなることもあると思う。

教育長 バスケットはクラブチームを作る動きが八郎潟と井川近辺であるが、井川の子供も達は入りたくないと言っているようだ。また、羽城でもクラブチームを作る動きがあるということだが、学校とクラブチームのどちらで出るかなど問題が複雑化してくる競技もあるのではないか。秋季大会後の来月にまた報告できるのではないか。

教育長 続いて5つ目の吹奏楽県大会、柔道東北大会の結果について事務局から説明を求める。

事務局長 吹奏楽全県大会出場。7月29日開催された小編成の部で銅賞。

8月9日柔道の東北大会女子個人の部で小武海夏姫さん第5位。

教育長 続いて6つ目の教育委員会、公民館、学校関係行事予定について事務局から説明を求める。

事務局長 学校行事予定については行事予定表を確認して欲しい。

教育長 質問を求め、無い旨を確認し、承認する。

以上で案件の報告事項を終わる。

その他として1つ目に、AERAの8月号の記事。週3日5時間授業で教員の負担を軽減の記事が載っている。茨城県守谷市で実

践。今まで教育雑誌しか載らなかったが、一般紙にも肯定的に取り上げられている。井川町も同じカリキュラムでやっているので載って良かったと思っている。守谷市の視察に行くが、先進的な取組を続けている所なので楽しみにしている。

2つ目に、埼玉県早稲田高等学院の半田校長が11月に講演しに来る。半田校長が8月に生徒同行で台湾に行った際にメールをもらった。その中で台湾政府が各国の高校生を集めて科学の国際コンテストを行っていた。30の台湾チームと11の国際チームが全て英語で議論していて驚いた。

最後に教育委員会だよりは学力学習調査結果と夏休みの体験会の感想が載っている。

情報提供として、さくら国際高等学校が秋田市山王に来年の4月開校する。不登校専門の高等学校で全国展開している。校長始め挨拶に来たが、今後テレビでも大々的にCM放送する予定で定員は30名程度。副校長が以前井川で校長をしていた佐藤先生とのこと。他に無い旨を確認し、定例会を終了する。